

## お知らせ

- I. 6月5日（月）から hpc システムの /home ファイルの容量制限実施
- II. 非構造格子・汎用熱流体解析プログラム STAR-CD のレベルアップについて
- III. 汎用データ可視化ソフトウェア A V S のレベルアップについて
- IV. 汎用データ可視化ソフトウェア A V S の不具合について
- V. データ解析ビジュアライゼーションソフトウェア IDL のレベルアップについて

## I. 6月5日（月）から hpc システムの /home ファイルの容量制限実施

すでに速報で何度かお知らせしていますが、6月5日（月）より、hpc システムの /home のファイルに対して、ユーザ単位での容量制限(ディスク・クォータ)を実施します。このファイルの容量制限の設定では、ハード制限、ソフト制限、猶予期間の3つのパラメータを指定します。それぞれのパラメータの値は、ソフト制限:50GB, ハード制限:100GB, 猶予期間:1週間とします。この設定により、以下のような状況になります。

<u>/home のファイル使用量</u>	<u>状況</u>
50GB 未満	従来どおり使用可能。
50GB 以上 100GB 未満 (ソフト制限超過状態)	1週間に亘り超過のメッセージをユーザに通知し、1週間を超えた段階で書き出しは不可となります。
100GB 超え (ハード制限超過状態)	書き出し不可。

ファイルの使用量が50GB以上になった場合には、すみやかに高速大容量ファイルへコピーするか、不要なファイルの削除などの対処をお願いします。

このファイル容量制限の実施により、制限を超過した場合にターミナルソフトウェアによっては、ログインができなくなる場合があります。そのような場合には、ftpなどで不要なファイルを消去してください。

ファイルの使用量などは、次に示す quota コマンドで確認できます。

```
hpc% quota -v
```

なお、高速大容量ファイルに対しては、従来どおりファイル容量の制限設定は、行いません。

(以上「速報」No.50-18.5.26発行)

## II. 非構造格子・汎用熱流体解析プログラム STAR-CD のレベルアップについて

非構造格子・汎用熱流体解析プログラム STAR-CD が、7月3日(月)より、V3.24 から V3.26 にバージョンアップします。このバージョンでは、pro-STAR や STAR ソルバーに次の機能追加や改良が行われています。詳しくは、1階端末室に備え付けてある CDAJ News 2005 vol.42 を参照してください。

pro-STAR/surf :

- ・ STL データのインポート機能
- ・ バグ修正
- ・ User Guide アップデート、Tutorial の改定

STAR ソルバー :

- ・ ラグランジュ多相流モデルの乱流分散モデル改良
- ・ 微粉炭燃焼のみでなく一般の粒子に対してもガス輻射考慮時に粒子の輻射の考慮が可能
- ・ 微粉炭燃焼モデルで非石炭パーティクルの定義が可能

(以上「速報」No.51-18. 6.23 発行)

## III. 汎用データ可視化ソフトウェア AVS のレベルアップについて

汎用データ可視化ソフトウェア AVS が、8月16日(水)より AVS Express7.1 にバージョンアップします。このバージョンでは、次の機能が拡張されています。

- ・ 2GB を越える大規模データのサポート
- ・ 非構造格子型データの時系列バイナリーデータのサポート
- ・ パーティクルトレースの尻尾表示のサポート
- ・ 流線の経過時間表示のサポート
- ・ 線コンターの数値表示のサポート
- ・ 動画ファイル作成時のフレームレートのサポート

詳しくは、次の URL を参照してください。

<http://www.kgt.co.jp/article/427/index.html>

## IV. 汎用データ可視化ソフトウェア AVS の不具合について

AVS (AVS Express) の V6.3 から V7.1 へのバージョンアップにともない、OutoutVRML モジュールのスペルミスが修正されています。このことにより、現在使用している V ファイル(可視化アプリケーションプログラム)を V7.1 で起動すると、vmrUI 関連のエラーメッセージが表示されることがあります。

対応方法としては、hpc 上で、現在使用している V ファイルを avscnv7 コマンドを使って V7 用に変換してご利用ください。

形式： avconv7 V ファイル名

【使用例】 hpc% avconv7 flow.v

#### V. データ解析ビジュアライゼーションソフトウェア IDL のレベルアップについて

データ解析ビジュアライゼーションソフトウェア IDL が、8月16日（水）より IDL 6.3 にバージョンアップします。このバージョンでは、次の機能が拡張されています。

- ・ Java と COM アプリケーションに IDL 機能の組み込みをサポート
- ・ 複数タスクの同時実行をサポート
- ・ iTools のベクトル表示をサポート
- ・ マルチモニターのサポート

詳しくは、次の URL を参照してください。

<http://www.jicoux.com/download/idl/IDL63.pdf>

(以上「速報」No.52-18.7.25 発行)